

デフレーミングに基づくDX/新規事業創造 ワークショップ

デフレーミングに基づく新規事業創造プロジェクト

Deframing

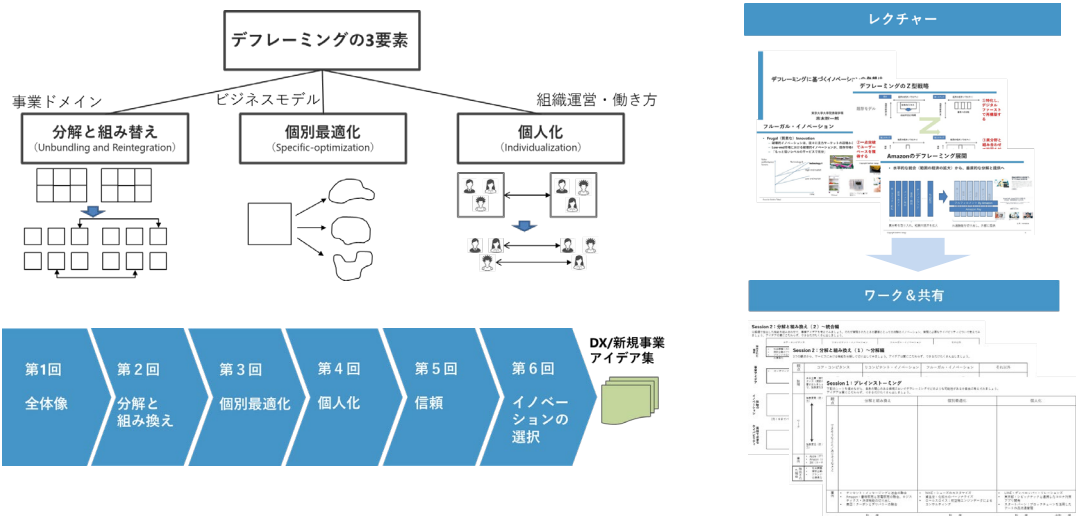
Innovation with confidence

デフレージングに基づく革新的事業創造ワークショップ

- 長年のデジタル経済に関する研究に基づく「デフレージング」概念とメソッドにより、「手ごたえのある」イノベーションの創出が可能
- デジタル技術の本質的影響を踏まえた最新事例・概念と、ワークシートへの記入・ディスカッションにより、確実にアイデアを創出
- 参加者間の活発なディスカッションにより、社員間のコミュニケーションの活性化、創造性の向上にも寄与

概要

- デフレージングの3要素を中心に、全6回のワークショップ
- 最新動向・概念のレクチャーとワークから構成
- バズワードに左右されない、デジタル技術の本質的影響を踏まえたDX時代の新規事業の検討が可能
- 参加者間の活発なディスカッションと創発



事例：Amazon, LINE, Tencent, Alibaba, Apple, NIKE, メルカリ, 資生堂, Komatsu, GE, Garmin等多数

講師



高木聡一郎（東京大学大学院情報学環 教授）
 東京大学情報学環ブロックチェーン研究イニシアティブ代表
 東京大学芸術創造連携研究機構（アートセンター）フェロー
 日本経済新聞社COMEMO キー・オピニオン・リーダー
 ハーバード大学ケネディスクール行政大学院フェロー（2007-2008）
 専門は情報経済学、デジタル経済論、イノベーション・マネジメント
 その他、企業・業界団体等のアドバイザー等を多数歴任

実績

- NTTデータ先端技術株式会社（インハウス）
- 慶應丸の内シティキャンパス「DX時代の革新的事業創造」（他業種混合）
- その他、インハウスでも続々実施予定



出典：慶應MCC

出典：NTTデータ先端技術プレスリリース

参加者の声

- “アイデアが次々に浮かんでくるのに驚いた”
- “豊富な事例でアイデアが触発される”
- “DXを体系的に理解できた”
- “他社との連携・協業の検討にも使えそう”



本ワークショップで得られるもの

- **DX／新規事業検討における悩みを解決し、明確な道筋を示します。**

新規事業・DXを取り巻く現状

- 何から手を付ければよいかわからない
- バズワードに飛びつきがち
- 検討の道筋がわからない
- アイデアが出ない
- 最初に出た案だけにこだわりがち
- 固定観念を壊せない

ワークショップで得られるもの

- **DX／新規事業創造の道筋が明確になる**
- **社会の変化を踏まえた新規事業のアイデアが出る**
- **社員の創造性が上がる**
- **デジタル化の本質を踏まえた検討ができる**
- **自社の枠を超えた自由な発想ができるようになる**
- **複数の観点から幅広く案を創出できる**

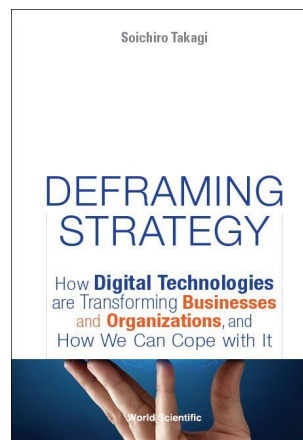
デフレーミングとは

- デフレーミングとは、東京大学大学院情報学環教授の高木聡一郎が提唱するデジタル経済の概念、およびそれに基づくDXメソッドであり、東京大学、国際大学での長年の研究の成果に基づいています。



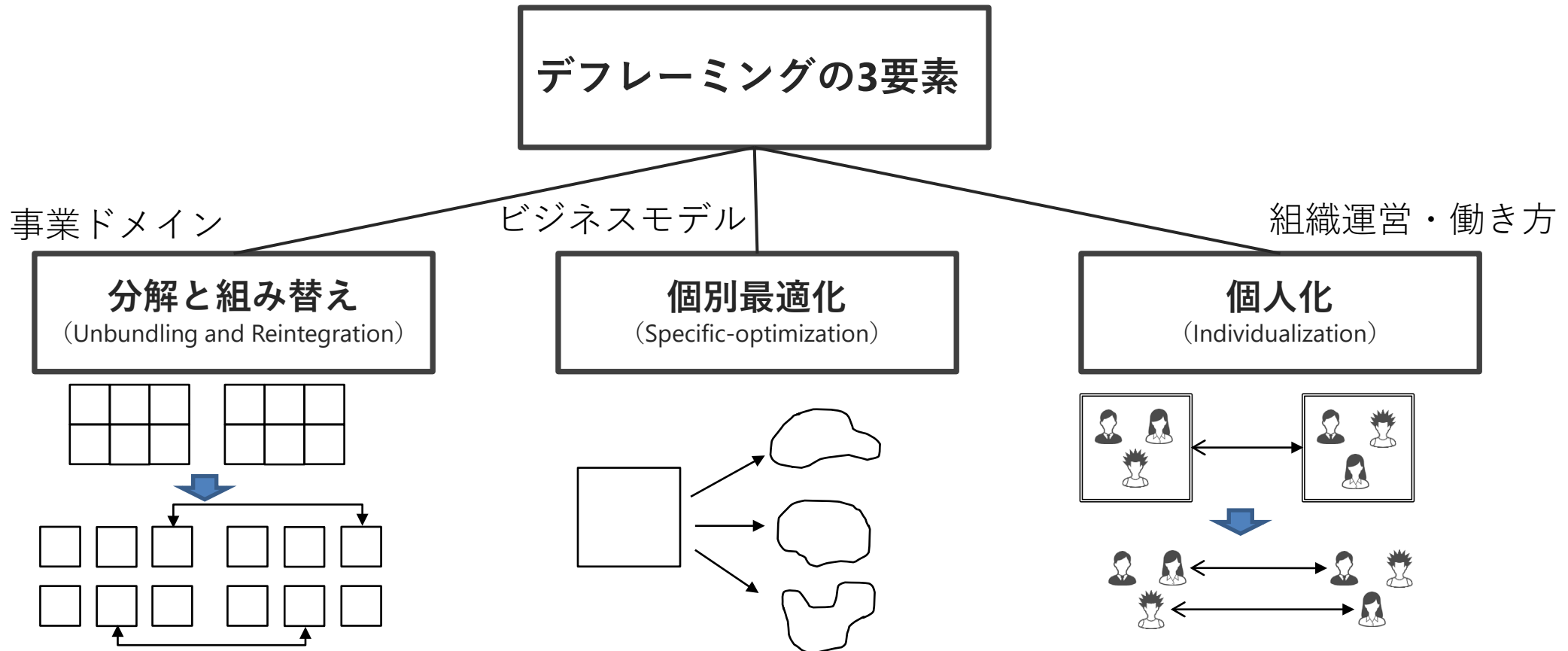
高木聡一郎プロフィール

東京大学大学院情報学環 教授
国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM) 主幹研究員
東京大学情報学環ブロックチェーン研究イニシアティブ代表
東京大学芸術創造連携研究機構 (アートセンター) フェロー
日本経済新聞社COMEMO キー・オピニオン・リーダー
ロンドン大学UCLブロックチェーン技術研究センター リサーチ・アソシエイト
ハーバード大学ケネディスクール行政大学院フェロー (2007-2008)
国際大学GLOCOMブロックチェーン経済研究ラボ代表 (2016-2019)
一般社団法人科学技術と経済の会 技術経営会議「デジタル変革による新サービス創造委員会」アドバイザー (2019-2020) 他
日本情報クリエイティブ株式会社 アドバイザー
NTTデータ先端技術株式会社 アドバイザー
専門は情報経済学、デジタル経済論、イノベーション・マネジメント



デフレミングとは

- 伝統的なサービスや組織の「枠組み」を越えて、内部要素を組み合わせたリカスタマイズすることで、ユーザーのニーズに応えるサービスを提供すること。
- 経済学／経営学に基づく長年の理論研究と、世界各地のイノベーションの事例分析から生まれたフレームワークです。



ワークショップの概要

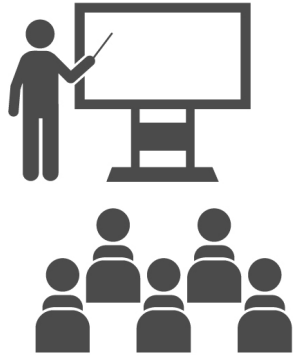
- 本ワークショップは、6回程度のセッション（1回3時間）で構成されます。
- 各セッションは、概念や最新事例に関するレクチャーと、ワークシートを用いて参加者が能動的に行うワークから構成されます。
- 最終成果物として、DX／新規事業アイデア集を作成します。



例) 隔週開催、3か月程度
個別のセッションのみの開催も可能

各セッションの内容

- 各セッションでは毎回レクチャーと、受講者が主体的に行うワークを行います。



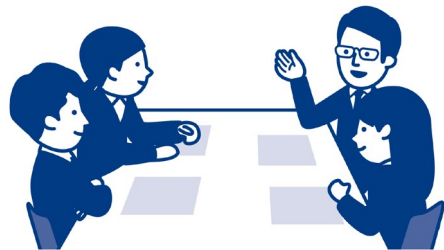
レクチャー

- デフレーミングに関する各トピックの概念、フレームワーク説明
- 関連する経営学（イノベーション・マネジメント分野）の概念紹介
- 具体的な企業事例の解説 など



ワーク & 共有

- ワークシートに基づき、各自で記入しながらアイデア検討
- グループで共有し、互いにコメント
- 各グループ（または各個人）から全体へ発表、講師からのコメント



豊富な教材・ワークシート

- 多くの講演で実績のあるレクチャー素材と、豊富なワークシートを用いて創造的な成果を生み出します。

レクチャー

ワーク & 共有

デフレーミングに基づくイノベーションの発想

東京大学大学院情報学環 高木 聡一郎

フルーガル・イノベーション

- Frugal (質素な) Innovation
 - 破壊的イノベーションは、往々に主力マーケットの辺境から
 - Low-end市場における破壊的イノベーションが、既存市場の「もっと低いレベルのサービスで充分」

Amazonのデフレーミング展開

- 水平的な統合（範囲の経済の拡大）から、垂直的な分解と提供へ

Session 2: 分解と組み換え (2) ~統合編

分解編で抽出した機能を組み合わせ、事業アイデアを考えてみましょう。それが実現されたときの顧客にとっての体験のイノベーション、実現に必要なケイバビリティについて考えてみましょう。アイデアの質にこだわらず、できるだけたくさん出しましょう。

抽出された機能	コア・コンピタンス	リコンビナント・イノベーション	フルーガル・イノベーション	それ以外
抽出された機能	コア・コンピタンス	リコンビナント・イノベーション	フルーガル・イノベーション	それ以外
事業アイデア	オンデマンド			
イノベーションのコン				
追加に必要なケイバビリティ				

Session 2: 分解と組み換え (1) ~分解編

3つの観点から、サービスにおける機能を分解して切り出してみましょう。アイデアは質にこだわらず、できるだけたくさん出しましょう。

観点	コア・コンピタンス	リコンビナント・イノベーション	フルーガル・イノベーション	それ以外
観点	コア・コンピタンス	リコンビナント・イノベーション	フルーガル・イノベーション	それ以外
説明	ある企業（オランダ）の機能（機能）を抽出し、抽出要素を再構築する			
ワーク				
事例	Apple (iPhone), Amazon (Kindle), 3M (ローテック)			
抽出された機能	社会課題、採算企業、ブランドの獲得力			

Session 1: プレインストーミング

下記のシートを埋めながら、自身の関心のある領域においてデフレーミングでどのような可能性があるか自由に考えてみましょう。アイデアは質にこだわらず、できるだけたくさん出しましょう。

観点	分解と組み換え	個別最適化	個人化
観点	分解と組み換え	個別最適化	個人化
事例	テンセント：メッセージングと送金の融合 Amazon：書籍販売と家電販売の融合、ロジクス・決済機能の切り出し 米国：クーポンとデリバリーの融合	NIKE：シューズのカスタマイズ 資生堂：化粧水のパーソナライズ ロールスロイス：航空機エンジンデータによるコンサルティング	LINE：ディベロッパー・リレーションズ 東京都：シビックチェックと連携したコロナ対策アプリ開発 スタートバーン：ブロックチェーンを活用したアート作品流通管理
計量	計量	計量	計量

事例：Amazon, LINE, Tencent, Alibaba, Apple, NIKE, メルカリ, 資生堂, Komatsu, GE, Garmin等多数

Deframing

Innovation with confidence

<https://deframing.org/>